

令和7年度 横浜市介護認定審査会 議事要旨	
日 時	令和8年3月24日(火曜日) 19:30~20:00
場 所	横浜市医師会会議室
出 席 者	戸塚委員(会長)、松井委員(副会長)、横倉委員(副会長)、佐藤委員、岩田委員、増田委員、廣瀬委員、高本委員、黒沢委員、浅井委員、真鍋委員、高橋委員、鈴木委員、柴田委員、西川委員、深澤委員、三木委員、水口委員、山本委員、箱田委員 計19人
欠 席 者	増田委員 計1人
委任状提出状況	各区介護認定審査会委員 計652人
開 催 形 態	公開(傍聴者0名・報道関係者0名)
議 題	<p>1 議事</p> <p>(1) 会長の選出</p> <p>(2) 副会長(職務代理者)の指名</p> <p>(3) 審査会委員の合議体所属指名</p> <p>2 横浜市からの連絡事項 横浜市の実施状況等</p> <p>3 その他</p>
議 事	<p>1 議事</p> <p>(1) 会長の選出 現会長の再任について、一同異議なく、戸塚会長に決定された。</p> <p>(2) 副会長(職務代理者)の指名 戸塚会長の指名により、一同異議なく、松井副会長、横倉副会長に決定された。また、職務代理者については、水野会長の指名により、一同異議なく、第1に松井副会長、第2に横倉副会長として決定された。</p> <p>(3) 審査会委員の合議体所属指名 全762人の委員が所属する合議体について、戸塚会長の指名により、一同異議なく、決定された。</p> <p>2 横浜市からの連絡事項 横浜市の実施状況について事務局から説明を行った。</p> <p>3 その他(質疑応答および意見)</p> <p>(1) 審査会資料のデータ化について (深澤委員) 審査会資料が郵送で送られてくると思うが、データ化して共有すれば、さらに所要日数が減るのではないか。今後の構想はあるか。 (事務局) 構想がないわけではないが、セキュリティ面の課題が大きい。安全性と所要日数削減についてどうバランスをとって運用ができるかだと思っている。引き続き検討したい。</p>

(2) 主治医意見書について

(黒沢委員)

審査会資料で見る主治医意見書の記入に温度差がある。介護認定に用いる主治医意見書はつかえすことができない。やり直しをしてもらったとしても、困るのは事務局と家族。主治医意見書作成料をもらってやっているのに、きちんと書かない医師がいる。自立度のランクについての理解がない医師も散見され、認知症もなく、歩行も自立しているような対象者の意見書に「要介護相当」との意見を記載する医師もいる。以前医師会の冊子に載せていた認知症生活自立度についての表を再度周知すべきではないか。

(事務局)

主治医意見書については、認定事務センターで問い合わせを行っている。課題は感じているため、医師会や病院協会と確認を取りながら対応方法について考えたい。

(深澤委員)

主治医意見書の選定にも課題があると感じる。他院にも受診していそうなのに、なぜこの主治医が記載するのか疑問に思うケースもある。そこも課題に思う。

(事務局)

その点も課題に感じている点である。頂いたご意見については、引き続き検討していく。

以上